

# よこはまの 地区社協活動

～地区社会福祉協議会データ集～  
(令和元年度版)



社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

# はじめに

このデータ集は、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決する地域づくり」の実現を目指すための参考となるよう、横浜市内256地区社協の活動状況を「地区社協状況書」に基づき取りまとめています。「地区社協状況書」は当該年度の地区社協活動を振り返る中で、見えてきた課題を整理し、次年度に向けた抱負を共有するためのツールです。

平成29年度に「地区社協のてびき」を改訂し、「ネットワークづくり」、「話し合いの場」、「小さな活動の応援」が地区社協の強みであることを確認しましたが、今までの「地区社協状況書」では、この3つの強みが十分に表せていませんでした。そこで、平成30年度報告分から様式を変更し、このデータ集についても「地区社協のてびき」に沿った見直しをすることで、その強みをさらにわかりやすくするための見える化を進めています。

今回は、特に地区社協の強みの中でも「ネットワークづくり(組織構成)」と「話し合いの場」について、明治学院大学の榊原先生にご協力いただき、分析した結果を冒頭で掲載しています。また、各地区で工夫した取組や事例等も紹介しています。このデータ集が「一人ひとりの困りごとを解決する地域づくり」の実現にお役立ていただけると幸いです。

# も く じ

	平成30年度地区社協状況書 分析結果 …… 2	
---	-------------------------	---

	<b>A</b> 困りごとを解決するネットワーク組織	
---	----------------------------	---

1	組織構成 ……	6
2	自主財源・活動場所 ……	8
	(1) 自主財源 ……	8
	(2) 活動場所 ……	9
3	話し合いの場 ……	10

	<b>B</b> 困りごとを解決するための活動	
--	-------------------------	---

1	解決のための様々な活動 ……	12
	(1) 見守り ……	12
	①個別の見守り ……	12
	②地域全体の見守り(パトロール) ……	14
	③地域全体の見守り(支えあいマップ・要援護者マップなど) ……	15
	(2) 居場所・交流 ……	16
	①居場所(サロン・子ども食堂など継続的なもの) ……	16
	②交流(イベントなど単発のもの) ……	17
	(3) 支えあい・生活支援 ……	19
	①地区ボランティアセンター ……	19
	②配食活動 ……	21
	(4) 人材育成 ……	22
2	住民の理解を広げる ……	24
	(1) 広報 ……	24
	(2) 福祉啓発 ……	26
	(3) 調査 ……	27
3	施設等との連携・協働 ……	29

	横浜の地区社協へメッセージ …… 30	
---	---------------------	---



# 平成30年度地区社協状況書 分析結果



## (1) 地区社協の組織構成

地区社協は広く地域住民や福祉事業団体、福祉の施設、民生委員、当事者団体などが会員となり、ネットワーク組織として活動しています。

地区社協状況書の「組織構成」の項目から全35種類の団体（P.6、7参照）の加入数を基に、地区社協を構成する団体数を集計しています。

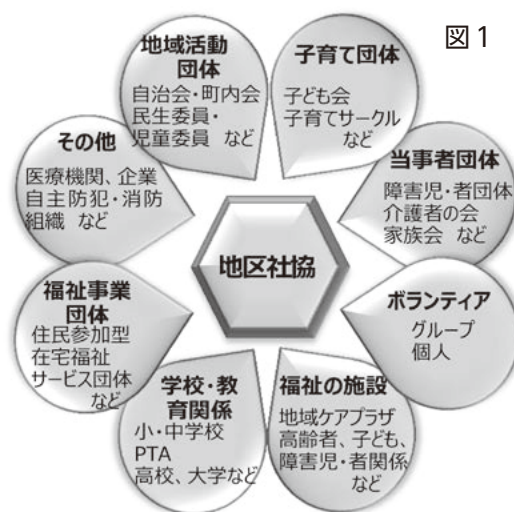


図1

### 1 平均構成団体数



横浜市内の256地区社協の平均構成団体数です。

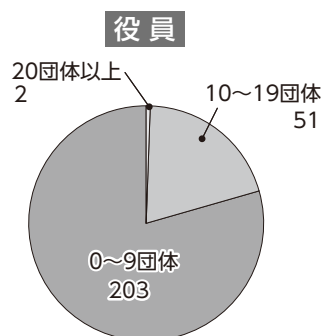
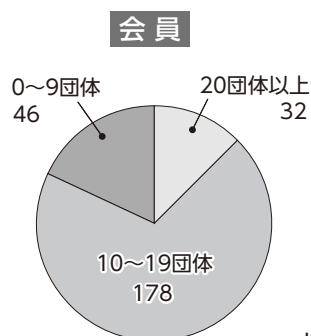
地区社協は、複数の団体が会員となっていて、組織がネットワークそのものであることがわかります。

### 2 構成団体数

(単位：地区)

団体数	会員	役員
20団体以上	32	2
10～19団体	178	51
0～9団体	46	203

10以上の団体が会員となって組織されている地区が多いですが、役員はP. 6、7に記載のとおり、自治会・町内会や民生委員・児童委員が中心に担っていることがわかります。



構成団体数

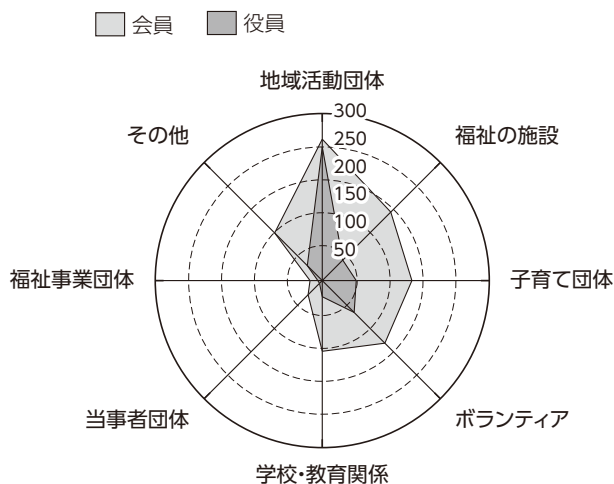
### 3 団体種別割合

地区社協に加入している団体を図1 (P.2参照) のように8つの団体種別に分類し、それぞれの団体がどの団体種別に該当しているかを集計しています。

地域活動団体はほぼすべての地区社協で会員となっていることがわかります。一方、地区により当事者団体や福祉事業団体が存在しないところもありますが、全体的に加入数が少ないことがわかります。

(単位：地区)

	団体種別	会員	役員
1	<b>地域活動団体</b>	<b>254</b>	<b>240</b>
2	福祉の施設	174	52
3	子育て団体	161	61
4	ボランティア	159	81
5	学校・教育関係	127	29
6	当事者団体	36	7
7	福祉事業団体	22	8
8	その他	121	38

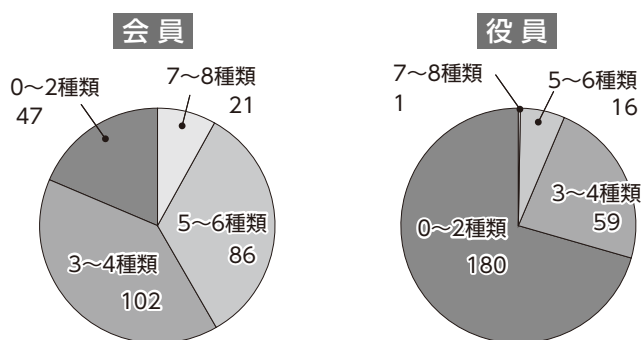


さらに上記8つの団体種別のうち、いくつの団体種別で構成されているかを集計し、地区社協が広く様々な団体で構成されていることを確認しています。

(単位：地区)

団体数	会員	役員
7～8種類	21	1
5～6種類	86	16
<b>3～4種類</b>	<b>102</b>	59
0～2種類	47	180

地域活動団体を中心に3～4種類の会員構成が多くなっていて、地域活動団体に限定せず複数の団体種別で構成されていることがわかります。役員となると種類も減り、限られたメンバーで構成されている地区社協が多くなります。



組織構成の集計を通して、地区社協は地域活動団体に限らない **多様な団体** が会員となり、**ネットワーク組織** として成り立っていることがわかりました。



ほぼすべての地区で地域活動団体が会員となっており、さらに当事者団体や福祉事業団体が地区社協の一員となることで、当事者の声を拾うことができるなど、一人ひとりの困りごとの解決につなげられる組織であると言えます。

## (2) 地区社協の話し合いの場

世代や分野を問わず、支え手受け手の関係を越えたネットワーク組織を活かして、様々な人が集う話し合いの場を定期的にするのが、地区社協としても最も大切な活動です。

地区社協状況書の「話し合いの場」の項目から集計をしています。



### 1 話し合いの場の数

横浜市内256地区社協で年間いくつの会議があり、何回実施されているかを集計しています。

	(単位：件)		(単位：回)	
	会議数	1地区平均	実施回数	1地区平均
地区社協主催	1,038	4	4,825	19
他団体の会議	448	2	2,595	10
<b>合計</b>	<b>1,486</b>	<b>6</b>	<b>7,420</b>	<b>29</b>

1番多い地区では、**90回**の会議を実施しています。

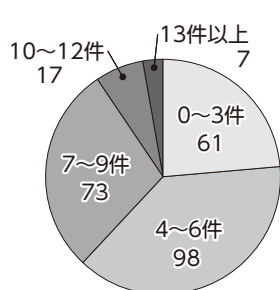
〈地区別会議数〉

会議数	地区数
0～3件	61
<b>4～6件</b>	<b>98</b>
7～9件	73
10～12件	17
13件以上	7

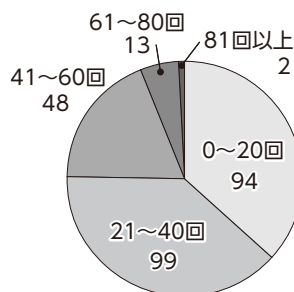
1番多い地区では、**18件**の会議があります。

〈地区別実施回数〉

回数	地区数
0～20回	94
<b>21～40回</b>	<b>99</b>
41～60回	48
61～80回	13
81回以上	2



〈地区別会議数〉



〈地区別実施回数〉

総会や定例の理事会・役員会を中心に、多くの地区で4～6件の会議があり、年間で21～40回の会議が開催されていることがわかります。平均の数値から計算すると、1件の会議につき、年間約5回の会議が行われていることもわかります。



## 2 話し合いの場の参加者数

横浜市内では、年間で **延べ約10万人**、1日あたり **267人**の方が、地区社協の話し合いの場に参加している計算になります。

(内訳) 地区社協主催の会議 実施回数4,825回×平均参加者数17人=82,025人  
 他団体の会議 実施回数2,595回×平均参加者数6人=15,570人  
 →地区社協主催の会議(82,025人) + 他団体の会議(15,570人) = 97,595人

地区社協の話し合いの場を通じて、地域の福祉活動にこれだけ多くの人関わっていることがわかります。

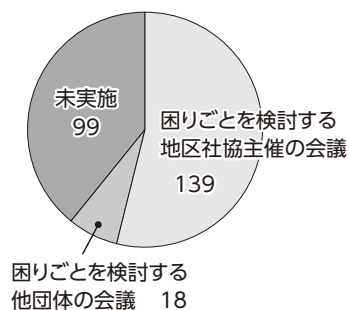
## 3 「困りごとを解決するための検討」をする話し合いの場

困りごとを解決するためには、「発見」「共有・検討」「解決」につながるネットワークが必要です。地区社協のネットワークを活かした話し合いの場が、「一人ひとりの困りごとを解決するための地域づくり」につながる第一歩となります。

①の1,486件の会議のうち、408件(P.10参照)が「困りごとを解決するための検討」をする話し合いの場であり、ここでは実施している地区の数を集計しています。

(単位：地区)

困りごとを検討する地区社協主催の会議	139
困りごとを検討する他団体の会議	18
未実施	99



横浜市では、ほとんどの地区に話し合いの場がありますが、その中でも157地区が「**困りごとを解決するための検討**」も行っています。活動の中で気になる小さなできごとの共有から始めている会議もあれば、具体的にどのように解決をしていくかアイデアを出し合って検討をしている地区もあります。

話し合いの場の集計を通して、地区社協が実施する話し合いの場がすでにたくさんあり、「**困りごとを解決するための検討**」をしている地区が約60%あることがわかりました。

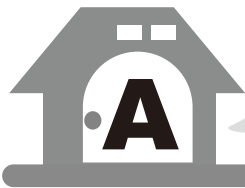


多様な人が関わる地区社協が、まずは今ある話し合いの場で、参加する団体や人の「**気になること**」を共有することで、困りごとの早期発見や、共有・検討、そして解決につなげることができると言えます。

※P.11に具体的な取組を紹介しています。



# 困りごとを解決する ネットワーク組織



## 1 組織構成



地区社協は、様々な団体が会員となって加入し、ネットワーク組織として活動しています。地区により会員となる団体は異なりますが、幅広い分野の団体が会員となっています。

横浜はおおむね地区連合を単位として組織されているため、98%を超える地区で、自治会・町内会、民生委員・児童委員が会員となっています。

### ① 各団体の構成数、構成割合

(単位：地区)

団体種別		会 員		役 員	
地域活動団体	自治会・町内会	253	98.8%	229	89.5%
	民生委員・児童委員	251	98.0%	226	88.3%
	保健活動推進員	233	91.0%	112	43.8%
	青少年指導員	228	89.1%	100	39.1%
	スポーツ推進委員	224	87.5%	100	39.1%
	主任児童委員	222	86.7%	112	43.8%
	老人会・シニアクラブ	205	80.1%	94	36.7%
	保護司	148	57.8%	55	21.5%
	友愛活動員	143	55.9%	42	16.4%
	消費生活推進員	114	44.5%	26	10.2%
	更生保護女性会	92	35.9%	35	13.7%
	女性会（婦人会）	83	32.4%	30	11.7%
	その他	74	28.9%	41	16.0%
子育て団体	子ども会	125	48.8%	43	16.8%
	子育てサークル	70	27.3%	24	9.4%
当事者団体	障害児・者団体	32	12.5%	7	2.7%
	介護者の会・家族の会	6	2.3%	1	0.4%



団体種別		会 員		役 員	
ボランティア	ボランティアグループ	138	53.9%	65	25.4%
	ボランティア（個人）	55	21.5%	30	11.7%
福祉の施設	地域ケアプラザ	149	58.2%	36	14.1%
	障害児・者関係（作業所を含む）	61	23.8%	15	5.9%
	高齢者関係	48	18.8%	14	5.5%
	子ども関係	39	15.2%	10	3.9%
学校・教育関係	小学校	103	40.2%	15	5.9%
	中学校	88	34.4%	16	6.3%
	小・中学校のPTA	81	31.6%	20	7.8%
	高校・短大・大学・専門学校	10	3.9%	1	0.4%
福祉事業団体（NPO等）	住民参加型在宅福祉サービス団体	16	6.3%	5	2.0%
	その他の事業所	8	3.1%	3	1.2%
その他	自主防犯・消防組織	89	34.8%	23	9.0%
	企業など（商店・法人・商工会・生協・農協）	27	10.5%	8	3.1%
	医療機関	26	10.2%	2	0.8%

#### その他の内訳

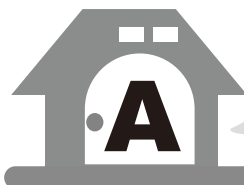
- 家庭防災員 ●防犯指導員 ●交通安全協会 ●環境事業推進員 ●ヘルスマイト
- 駐在所 ●郵便局 ●神社 ●自治会・町内会役員OB ●公園愛護会 など

## 各地区社協の取組紹介



### 組織構成の効果／工夫

- 子ども会のお父さんにお祭りのお手伝いをお願いすることにより、自治会・町内会活動につながった。
- 子どもの居場所づくりをきっかけにして、PTAや保護者に関わってもらっている。
- 自治会・町内会から地区社協の活動を一緒に考える人を選出してもらい、「事業推進員」として運営に協力を得ている。
- 企業が集まるネットワークに地区社協も参画している。



# 2

# 自主財源・活動場所



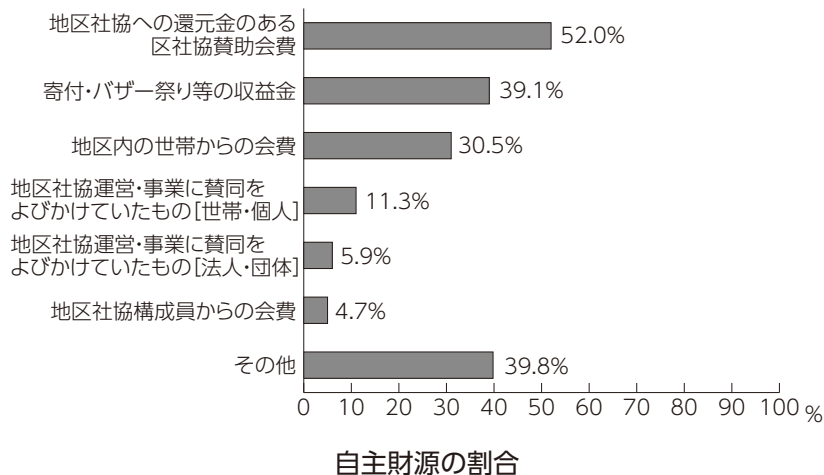
## (1) 自主財源

地区社協は地域や活動団体の代表が集まるネットワーク組織であり、公共性が高いため、他の団体にはない多くの財源を使って活動を展開しています。また、約3割の地区社協が独自で会費を集めたり、バザーなどの収益を活用したりするなどの様々な方法で自主財源を確保しています。

財源内容	実施地区数	割合	平均金額
地区社協への還元金のある区社協賛助会費	133	52.0%	—
寄付・バザー祭り等の収益金	100	39.1%	—
地区内の世帯からの会費	78	30.5%	119円
地区社協運営・事業に賛同をよびかけていたもの [世帯・個人]	29	11.3%	1,473円
地区社協運営・事業に賛同をよびかけていたもの [法人・団体]	15	5.9%	3,714円
地区社協構成員からの会費	12	4.7%	3,233円
その他	102	39.8%	—

### その他の内訳

- 自治会・町内会等からの助成金
  - 学校協力の会からの助成金
  - 不要ハガキの回収
  - 年末たすけあい募金還元金
  - 活動参加費 ●祝金
  - 一円玉募金
  - 募金箱の設置 (商店、コミュニティハウス)
  - 広報紙広告料 ●包丁研ぎ代
- など



## 各地区社協の取組紹介



### 自主財源の効果／工夫

- 集まった会費や寄付を有効に活用していることを地区社協だよりに掲載している。
- 地域の店舗に募金箱の設置を依頼をしていて、地区社協のPRにもつながっている。
- 財源確保部会、賛助会費検討チームなどを作り、財源確保について検討をしている。

## (2) 活動場所

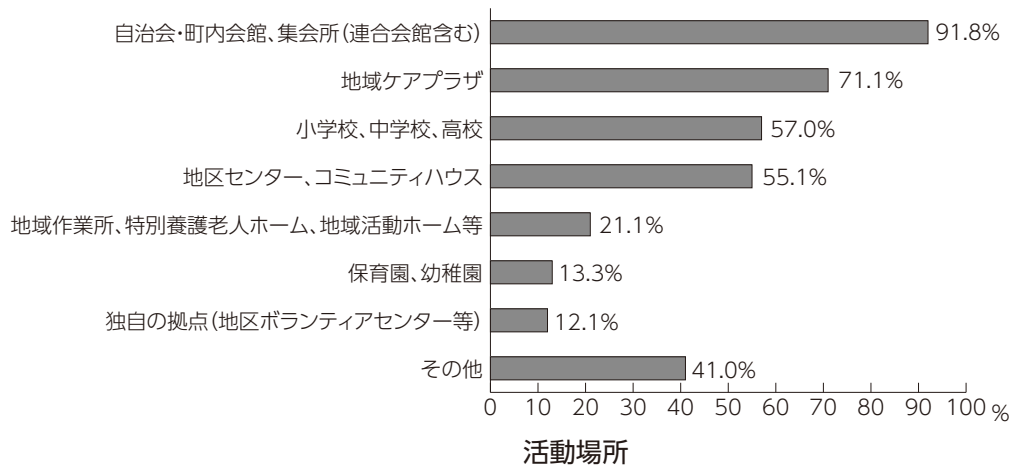
地区社協が話し合いや活動を行うため、様々な場所を利用しています。地区により状況は異なりますが、地域住民が通いやすくするために、約90%の地区が自治会・町内会館を活用し、その他にもより身近なエリアにある活動場所を使えるように様々な工夫をしています。

### ① 活動場所

活動場所	活動地区数	割合
自治会・町内会館、集会所（連合会館含む）	235	91.8%
地域ケアプラザ	182	71.1%
小学校、中学校、高校	146	57.0%
地区センター、コミュニティハウス	141	55.1%
地域作業所、特別養護老人ホーム、地域活動ホーム等	54	21.1%
保育園、幼稚園	34	13.3%
独自の拠点（地区ボランティアセンター等）	31	12.1%
その他	105	41.0%

#### その他の内訳

- 公園
- 神社
- 寺
- 個人宅
- 空き店舗
- 店舗
- 病院
- 農協 など



### 各地区社協の取組紹介



#### 活動場所の効果／工夫

- 自治会・町内会館の前に地区社協が掲示板を設置したことにより、通行人の目に留まり、行事の参加者が増えた。
- 地区社協が福祉施設連絡会を開催したことで、施設が地域貢献として場所の提供を申し出てくれた。

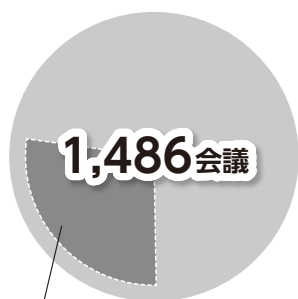
# 3 話し合いの場



世代や分野を問わず、「支え手」「受け手」の関係を越えたネットワーク組織を活かして、様々な人が集う話し合いの場を定期的につくることが、地区社協として最も大切な活動です。

横浜市内では、地区社協が関わる話し合いの場は年間約7,400回実施されています。そのうち約1/4の会議が「困りごとを解決するための検討」もしています。平均すると1つの地区社協で月2回以上の話し合いの場が設けられています。

## ① 各種会議



うち困りごとの検討をしている会議 **408**会議

	会議数	延べ実施回数	平均参加者数	うち困りごとの検討をしている会議
地区社協主催	1,038	4,825	17	302
他団体の会議	448	2,595	6	106
合計	<b>1,486</b>	<b>7,420</b>		<b>408</b>

### 会議内容例

#### 〈地区社協主催〉

- 総会
- 役員会
- 理事会
- 定例会
- 地区別計画に関する会議
- 活動に関する会議
- 分野別部会（高齢者、児童など）
- ネットワーク会議 など

#### 〈他団体の会議〉

- 連合定例会議
- 地区民児協定例会
- 地域ケア会議
- ボランティア連絡会 など

#### 〈具体的な会議内容〉

- 代表者会議 …………… 各部会、町内会からの報告
- 活動団体情報交換会 …………… 地区内各種活動団体代表者による情報交換
- 賛助会費等説明会 …………… 賛助会費の募金方法説明
- 住みよいまちにするための検討会 … 関係機関が集まり、活動について振り返りと今後の検討

#### 〈困りごと検討している会議〉

- 福祉施設連絡会 …………… 福祉施設と住民との連携
- ワールドカフェ …………… 地域住民からニーズの聞き取り、課題について検討
- 世話人会 …………… 地区社協活動の各エリアを担当する世話人同士の意見交換

# 各地区社協の取組紹介



既存の会議の中で、地区社協の特徴であるネットワークを活かして、一人ひとりの困りごとの共有・検討ができる場を作り、解決に向けたきっかけづくりを行った取組を紹介いたします。

## 「地区社協のネットワークを活かした話し合いの場」

磯子区  
根岸地区

### 取組の きっかけ

月1回開催している地域福祉保健計画地区別計画の推進会議（参加者：地区内の自治会・町内会、地区社協、民生委員、保健活動推進委員、子ども会、地区ボランティアグループの代表、サロンの代表、地域ケアプラザ、区役所、区社協等）で、活動の進捗状況の確認を行っていましたが、進捗状況の確認の延長で「それぞれが気になっていること」を話していましたが、検討せずに終わってしまうことが多いように感じていました。そのような話にこそ大切な情報があるのではないかと考え、地区社協として「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を進めるため、**みんなで話ができるような時間を新たに設定**することになりました。

### 取組の 内容

会議の中に、「今、まちで気になっていることの情報交換」を取り入れることで、活発な情報交換が行われることになりました。

### 発見 困っている人に気付く

- ・〇〇町で詐欺の被害が出た
- ・最近建てられたアパートの住民が、ゴミ出しのルールを守れていないのが気になる
- ・最近近所で野良猫が増えていて対処に困っている

情報共有を続けることで、参加する方々が普段、**困りごとに気づきやすくなり、活発な話し合いの場**が行われている。

### 解決 地域での助けあい など

- ・地区社協が行う一人暮らし高齢者の昼食会にて、詐欺の注意喚起を行った
- ・会議で出た話を参考に自治会町内会で行う研修のテーマを考えている

### 今後に向けての 思い

地区社協として **既存の会議を活用して、困りごとを共有し、解決に向けた検討をする場を作っている**が、地域の中で困りごとを抱える人はまだいるので、もっと多くの方が、**困りごとに気づき、共有できる場に参加**してもらいたいです。多くの方が参加できるよう促したり、この会議に限らず、発信しやすくなるための話し合いの場を作っていきたいと考えています。

### 参加者の思い

話し合いをし、どうしたらいいかを考える中で自分も『人と関わりがやっぱり大切』など再確認できることが多かったです。



### 気付いたことを話す場がある 共有・検討

- ・情報を共有することで、他人事だった困りごとが我が事となった
- ・会議の場では、困りごとに対して「まずは、詐欺の現状把握してみよう」などの **アドバイスをもらえたり、解決に向けたきっかけ**につながった

### 地区社協の思い

会議の場の雰囲気が大切。『そうそう、〇〇町のあれどうなった?』というようにラフに話をふることで井戸端会議のように話せるようにしています。



取組を行った後も会議の場で報告し、**継続して情報共有**をしている。

# B 困りごとを 解決するための活動

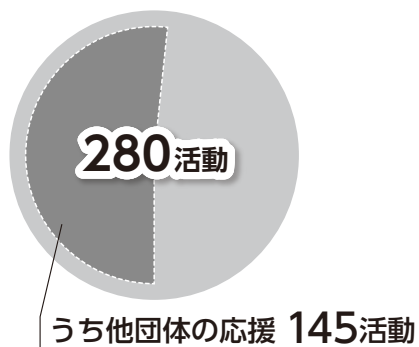
## B 1 解決のための様々な活動

### (1) 見守り

見守り活動は、その町に住み続ける住民だからこそできる草の根の大切な活動で、横浜市内の地区社協では約500件の活動があります。お互いを気にかけて、細かな変化に気づき、誰かへつなぐことで早期発見・早期解決を可能にします。社会情勢に合わせ、近年では対象者を限定せずに、8050世帯（ひきこもりが長期化しその親も高齢化して困窮する世帯）、生活困窮世帯、外国籍住民等、幅広い層への見守りが広がっています。

#### 1 個別世帯の見守り

##### ① 活動数



##### ② 活動対象

高齢者	子ども	障害者	その他
267	80	92	10

##### その他の内訳

- 8050世帯の息子
- 生活困窮者
- 要援護者
- 全て対象
- 高齢世帯
- 外国籍住民
- ひとり親世帯
- など

##### ③ 対象エリア

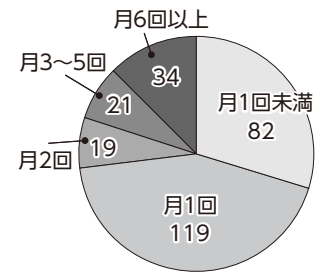
地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
210	57	0	13

##### その他の内訳

- 民児協エリア
- 小学校エリア
- 限定なし など

#### ④ 実施頻度

月1回未満	月1回	月2回	月3～5回	月6回以上
82	119	19	21	34



見守りの実施頻度

#### ⑤ 実施世帯数

実施世帯 (実数)	1活動における平均実施世帯 (実数)
75,960 世帯	429 世帯

#### ⑥ 活動者数

活動者数	1活動における平均活動者数
6,441 人	32 人

#### ⑦ 方法

訪問	電話	その他
235	85	53

##### その他の内訳

- 声かけ
- ゆるやかな見守り
- 防災グッズ・カレンダー等配付時の見守り  
など

#### ⑧ 他団体の応援内容

担い手 <sup>※1</sup>	相談調整 <sup>※2</sup>	広報 <sup>※3</sup>	資金 <sup>※4</sup>	その他
99	17	26	55	6

##### その他の内訳

- 課題発見時の連携・協力
- 物品の購入
- 研修会実施  
など

##### 他団体への応援資金

合計 …………… 4,985,169円  
1活動における平均 ……… 97,748円

※1 担い手：地区社協メンバーが担い手として活動を応援すること

※2 相談調整：他団体の相談に対して、情報提供等を行うこと

※3 広報：地区社協の広報媒体を使って、活動を広報すること

※4 資金：活動にかかる費用を補助等すること



## 2 地域全体の見守り（パトロール）

### ① 活動数



うち他団体の応援 129活動

### ② 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
98	84	0	31

#### その他の内訳

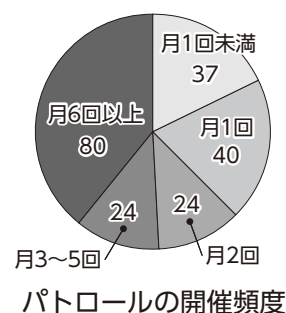
- 登下校に使う交差点
- 団地
- など

#### おもな内容

- 登下校時パトロール
- 夜間パトロール
- 防犯パトロール
- 年末パトロール
- 町内の危険箇所確認
- 新聞配達員と共同で見守り
- など

### ③ 開催頻度

月1回未満	月1回	月2回	月3～5回	月6回以上
37	40	24	24	80



### ④ 活動者数

活動者数	1活動における平均活動者数
6,565人	39人

### ⑤ 他団体の応援内容

担い手	相談調整	広報	資金	その他
95	5	20	19	1

#### その他の内訳

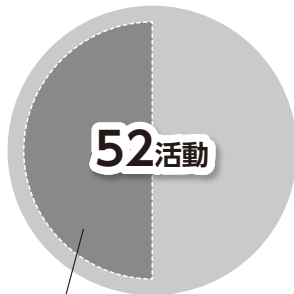
- 研修会実施

#### 他団体への応援資金

合計 …………… 515,000円  
1活動における平均 ……… 30,294円

### 3 地域全体の見守り（支えあいマップ・要援護者マップなど）

#### ① 活動数



うち他団体の応援 26活動

実施回数 …………… 237回  
 マップ作成数 …………… 502箇所  
 累計マップ作成数 …… 1,115箇所

#### 実施の目的

- 災害時支援
- 要援護者（高齢者等）の見守り
- 活動者同士の情報交換 など

#### ② 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
17	29	2	4

#### その他の内訳

- 1街区
- 番地 など

#### ③ 他団体の応援内容

担い手	相談調整	広報	資金	その他
19	6	5	6	2

#### その他の内訳

- 自治会・町内会へのアイデア提供
- 講習会の開催

#### 他団体への応援資金

合計 …………… 72,600円  
 1活動における平均 …… 24,200円

## 各地区社協の取組紹介



### 見守りの効果／工夫

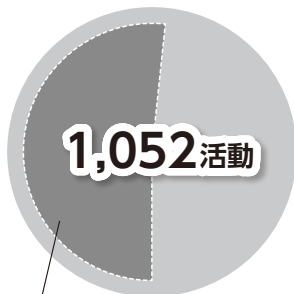
- 見守りをしていた世帯の子どもが、町中で会うと挨拶してくれるようになった。
- いつも同じ時間に道ですれ違う方に挨拶をし続けたら、育児の悩みを相談してくれるようになった。その人を配食活動にお誘いし、仲間に加わってもらえた。
- 支えあいマップ研修をきっかけに、地域で見守り活動がスタートした。

## (2) 居場所・交流

地域の中でつながりを作り、日頃からお互いを気にかけてあえる関係を構築していくためには、居場所や交流の場が有効です。集える場があることで、生活の中の困りごとを発見しやすくし、解決に向けた取組へつなげることができます。地区単位から、より小さな単位（自治会・町内会単位等）での居場所・交流の場づくりが進んでいます。活動の中でも件数が多く、居場所・交流を合わせると1,800件を超える活動があります。

### 1 居場所（サロン・子ども食堂など継続的なもの）

#### ① 活動数



うち他団体の応援 543活動

#### ② 活動対象

高齢者	子ども	障害者	その他
754	398	154	117

##### その他の内訳

- 誰でも
- 介護者
- 心の悩みを抱えた方
- 親子
- 認知症当事者
- 女性限定 など

#### ③ 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
708	247	0	97

##### その他の内訳

- 近隣
- 民児協エリア
- 中学校エリア
- 地区外 など

#### ④ 開催回数

延べ回数	1活動に対しての平均実施回数
24,270回	23回

#### ⑤ 参加者数

1活動における平均参加者数
28人

#### ⑥ 活動者数

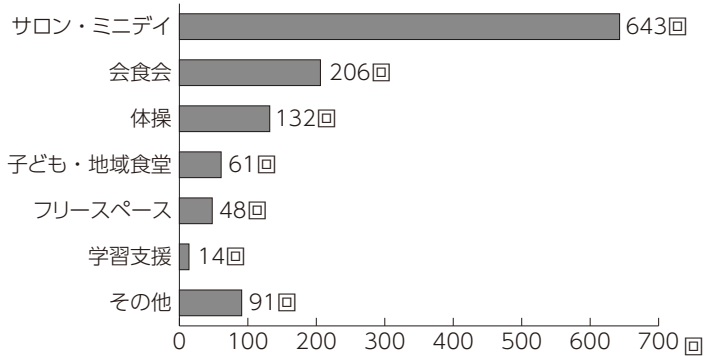
活動者数	1活動における平均活動者数
15,259人	19人

#### ⑦ 参加費

1回あたり平均参加費
171円

## ⑧ 内容

サロン・ミニデイ	会食会	体操	子ども・地域食堂	フリースペース	学習支援	その他
643	206	132	61	48	14	91



居場所の活動内容

### その他の内訳

- 相談
- 健康麻雀
- 合唱
- 手芸
- 読み聞かせ
- 料理
- 育児相談
- 映画会 など

## ⑨ 他団体の応援内容

担い手	相談調整	広報	資金	その他
219	74	323	479	12

### その他の内訳

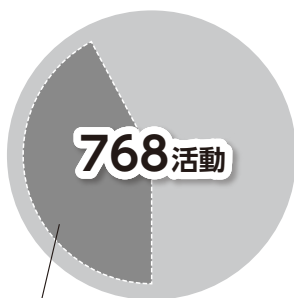
- 物品・野菜提供
- 課題発見時の連携・協力
- 学生ボランティア など

### 他団体への応援資金

合計 …………… 20,652,184円  
 1活動における平均 …………… 49,289円

## 2 交流（イベントなど単発のもの）

### ① 活動数



### ② 活動対象

高齢者	子ども	障害者	その他
533	461	301	224

### その他の内訳

- 誰でも
- 地域活動団体
- 親子
- 施設利用者 など

### ③ 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
693	23	0	53

### その他の内訳

- 近隣
- 隣接地区と共催
- 中学校エリア
- 区域 など

#### ④ 実施回数

延べ回数	1活動に対しての平均実施回数
1,803回	2回

#### ⑤ 参加者数

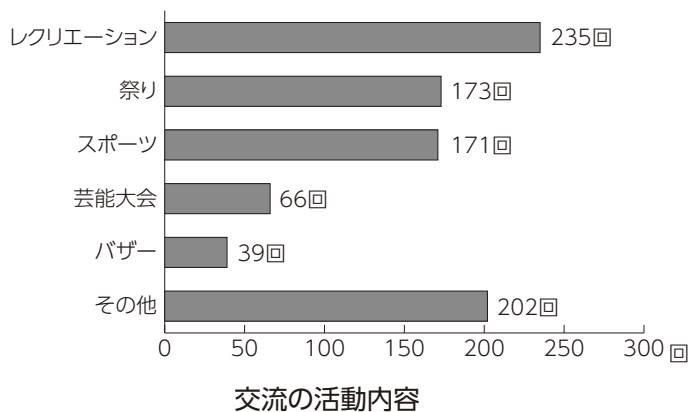
1活動における平均参加者数
457人

#### ⑥ 活動者数

活動者数	1活動における平均活動者数
23,305人	43人

#### ⑦ 内容

レクリエーション	祭り	スポーツ	芸能大会	バザー	その他
235	173	171	66	39	202



##### その他の内訳

- 世代間交流
- 食べ物 (カレー、餅、流しそうめん、すいとん等) をふるまう
- 清掃活動
- バスハイク など

#### ⑧ 他団体の応援内容

担い手	相談調整	広報	資金	その他
258	35	162	189	10

##### 他団体への応援資金

合計 … 11,162,945円      1活動における平均 … 82,080円

##### その他の内訳

- 物品提供
- 自治会・町内会未加入世帯への呼びかけ など

## 各地区社協の取組紹介



### 居場所・交流の効果／工夫

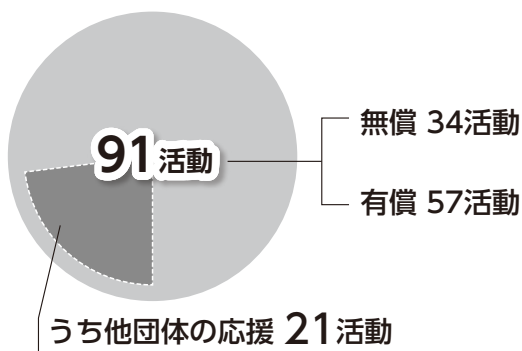
- 子どもの居場所の運営について、学習支援は高校生に、調理はヘルスメイトに、帰宅時の付き添いは地域の見守り隊に協力してもらっている。(地区社協のもつネットワークを活かした取組)
- 外国籍の住民にも参加してもらえるよう、チラシを外国語版でも作成している。
- サロン利用者がオレオレ詐欺に遭いそうになり、地区社協役員に相談があって未然に防ぐことができた。

### (3) 支えあい・生活支援

#### 1 地区ボランティアセンター

一人ひとりの困りごとに寄り添い、ちょっとした家事の手伝いなど一人ひとりの生活を支える活動を広げることで、生活者の困りごとが顕在化され、その解決のための話し合いや活動へつなげることが期待されます。市内には約90か所の地区ボランティアセンターがあり、高齢者対象の活動を中心にを行っています。

##### ① 活動数



##### ② 対象エリア

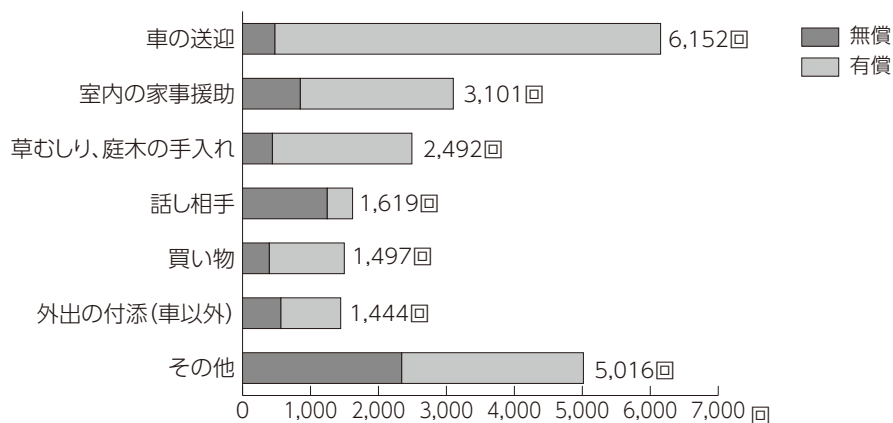
	地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
無償	26	8	0	0
有償	46	7	0	4
合計	72	15	0	4

##### その他の内訳

- 民児協エリア
- 隣接地区と合同 など

##### ③ 実施内容

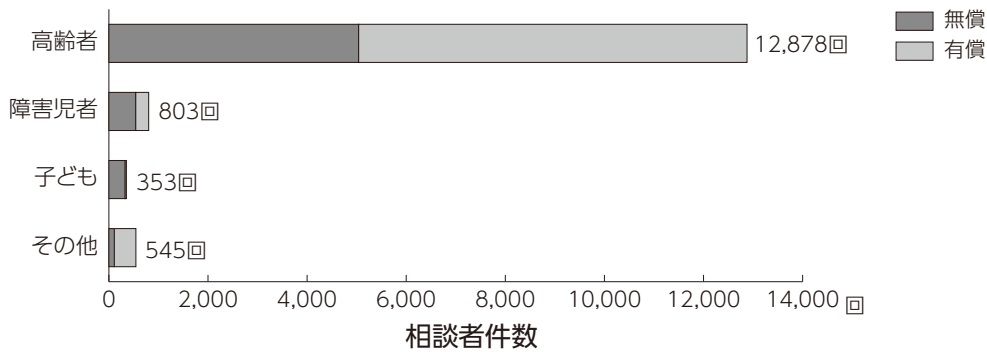
	車の送迎	室内の家事援助	草むしり、庭木の手入れ	話し相手	買い物	外出の付添(車以外)	その他	合計
無償(実施回数)	474	848	438	1,244	392	562	2,341	6,299
有償(実施回数)	5,678	2,253	2,054	375	1,105	882	2,675	15,022
合計	6,152	3,101	2,492	1,619	1,497	1,444	5,016	21,321



地区ボランティアセンターの活動内容

#### ④ 相談者件数

	高齢者	障害児者	子ども	その他
無償	5,039	540	324	109
有償	7,839	263	29	436
合計	12,878	803	353	545



#### ⑤ 利用料

利用料平均	1回あたりの 金額例	最高 …… 1,000円
212円		最低 …… 100円

#### ⑥ 他団体の応援内容

担い手	相談調整	広報	資金	その他
12	7	10	7	1

##### その他の内訳

- 研修会実施

##### 他団体への応援資金

合計 …… 539,000円  
1活動における平均 …… 59,889円

## 各地区社協の取組紹介



### 地区ボランティアセンターの効果／工夫

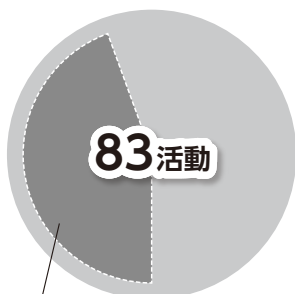
- 地区ボランティアセンターができたことで、地域包括支援センターや介護サービスでは対応できない日常的なちょっとした頼み事が増えている。
- 買い物支援を受けている方の話をいろいろ聞いていたら、精神的に安定された。つながりを求めていたことが分かった。
- 困っている人が気兼ねなく依頼できるよう、有償サービスにしている。



## 2 配食活動

手渡しでお弁当を届ける配食活動は、利用者の変化に気づきやすく、大切な見守り活動のひとつです。市内83か所で年間3,500回以上、外出が難しい高齢者を中心にお弁当を届けています。

### ① 活動数



うち他団体の応援 37活動

### ② 活動対象

高齢者	子ども	障害者	その他
82	3	11	1

#### その他の内訳

- 民生委員見守り対象者のうち希望者

### ③ 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
66	14	1	2

#### その他の内訳

- 民児協エリア など

### ④ 配食数

1回あたりの平均配食数	1食当たりの平均料金
54食	352円

### ⑤ 実施回数

延べ実施回数	1活動における平均実施回数
3,561回	43回

### ⑥ 活動者数

活動者数	1活動における平均活動者数
3,136人	38人

### ⑦ 他団体の応援内容

担い手	相談調整	広報	資金	その他
23	8	24	40	0

#### 他団体への応援資金

合計 …… 3,841,602円      1活動における平均 …… 103,827円

## 各地区社協の取組紹介



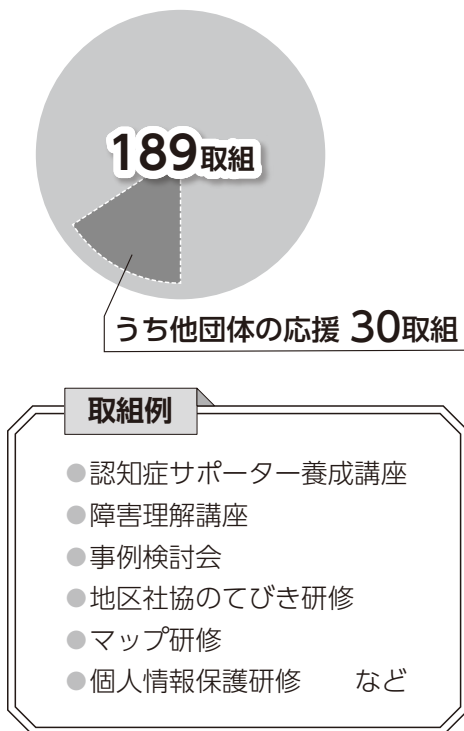
### 配食活動の効果／工夫

- 食事会に来られなくなった方も、配食サービスで引き続きつながりを保持している。
- なかなかお話をしてくれなかった方が、配食サービスを利用するようになって少しずつ話してくれるようになった。

## (4) 人材育成

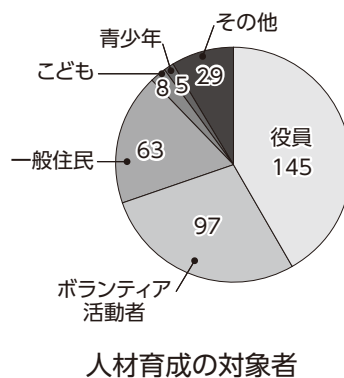
福祉課題に関心を寄せ、地域活動に携わる人材を増やしていくことは、地区社協の大切な活動のひとつです。困りごとを抱えた住民の課題を自分事として受け止め、地域でできることを話し合い、ともに支えあえる意識を醸成するための研修や視察等が行われています。現在は約70%が役員を対象とした研修が主ですが、新たな担い手確保のためにも、対象者を広げていくことも必要と思われます。

### ① 取組数



### ② 対象者

役員	ボランティア活動者	一般住民
145	97	63
こども	青少年	その他
8	5	29



- その他の内訳**
- 民生委員
  - ケアプラザ職員
  - 自治会・町内会役員
  - 友愛活動推進員 など

### ③ 実施回数

延べ回数
332回

### ④ 参加者数

延べ人数
9,452人

### ⑤ 他団体の応援内容

担い手	相談調整	広報	資金	その他
20	7	15	25	2

- その他の内訳**
- 話し合いの場の設定
  - 表彰

**他団体への応援資金**

合計	677,199円
1活動における平均	45,147円

## 各地区社協の取組紹介



人材育成の取組は色々な形で行われていますが、研修・講座という形だけではなく、地区社協独自の賛助会員の仕組みを切り口にして、「地区社協の理解者を増やし、活動につなげる」という視点で行っている取組を紹介いたします。

### 「地区社協の既存の取組を活かして、新たな理解者を増やして活動者につなげる」

金沢区  
金沢東部地区

#### 取組の きっかけ

担い手の高齢化や地区社協の役員の負担を感じて、新たな活動者を増やしたいと思っていました。一方、子育てサロンに参加していたお母さんが就労をきっかけに地域を離れたり、気持ちがあるけど、病気などを理由に活動できない人もいました。そのため、細くてもつながり続け、いつか地域に戻ってきてもらえるような取組を進めたいと思いました。そこで、「見える地区社協」「誰でもできる地区社協」をキーワードに、地区社協の理解者を増やすことを目指して取組を始めました。

#### 取組の 内容

当初871名だった賛助会員数を900名にすることを年度目標に設定。資金集めは二の次で、賛助会員の目的を永続的に地域と人をつなぎ続けることにしました。

#### 取組と効果①

集金に協力してもらう **自治会・町内会** の役員会に出向き、地区社協紹介チラシを使い、**活動のPR**及び **賛助会員への協力要請を実施**。

→活動PRをしたことで若い世代の班長からの反応が良く、積極的な協力もあります。

賛助会員が919名（約50名増）となり、**地域住民の把握**ができ、**顔の見える関係づくり**につながりました。つながり続けることで、**子育てが落ち着いた方が地域活動に関わるようにもなりました**。さらに関わる方が増えたことにより、**新たな視点の意見が出たり**、役割分担をすることで、担い手の **負担軽減** にもつながりました。

地区社協の説明を聞いて、これなら協力したいと思いました。



娘が5か月のころからお世話になっており、スタッフの方やママ友に支えてもらっていました。2年ほど前からボランティアを始めることになり、今まで元気をもらった分をお返しできればと思っています。



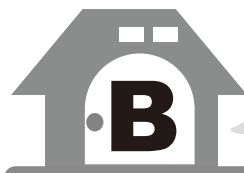
#### 取組と効果②

配食サービスなどの地区社協事業を利用されている方全員へ賛助会員の周知、協力依頼も行い、協力者へ広報紙やHPを通じて **しっかり活動報告（フィードバック）** をしています。

→一人暮らし高齢者の近所の方が地区社協サービスを紹介して、利用に繋がったケースもありました。賛助会員制度を通じて地区社協理解者が増えることが担い手を増やすだけでなく、**地域住民と地区社協の橋渡し** にもなっていると実感しました。

#### 今後に向けての 思い

地区内での **顔の見える関係づくり** を目指して、賛助会員をさらに増やして、**地区社協の理解者を増やしていきたい**です。そして、みんなが明るく元気で楽しく活動していることを知ってもらうことで自分のできる範囲で活動にも参加してほしいと考えています。



## 2 住民の理解を広げる



### (1) 広報

福祉についての住民理解を広げるために、198地区で地区社協の広報紙が発行されています。主に地域や地区社協の活動紹介を行っていますが、担い手募集や社協が応援している団体紹介などを行っている地区もあります。

また、地区社協独自でホームページを作成するなど、多くの住民に地区社協を知ってもらうための工夫を行っています。

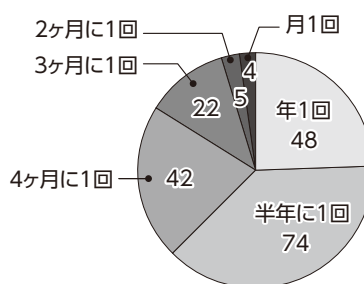
#### 1 広報紙

##### ① 実施地区数



##### ② 発行回数

年1回	半年に1回	4ヶ月に1回
48	74	42
3ヶ月に1回	2ヶ月に1回	月1回
22	5	4



広報紙の発行回数

##### ③ 内容

活動紹介	事業計画・報告	予算・決算	その他
120	86	26	60

##### その他の内訳

- 地域活動の紹介
- イベント等の案内
- グループの紹介
- 社協とは
- 地域福祉保健計画
- 担い手募集
- 賛助会費について
- 年間スケジュール
- 地区の名所紹介
- など

## 2 ホームページ・SNS

### ① 実施地区数



### ② 更新回数

週1回	月1回	3ヶ月に1回	2ヶ月に1回
2	5	3	3

### ③ 手段

ホームページ	ブログ	Facebook
28	2	3

Twitter	Instagram	その他
0	0	2

### ④ 内容

活動紹介	事業計画・報告	予算・決算	その他
24	11	7	9

#### その他の内訳

- 地域活動の紹介
- イベント等の案内
- 広報紙掲載 など

## 3 その他の広報

### ① 実施地区数



#### 内容例

- 活動のちらし・ポスターの作成
- サロン等のマップ作成
- 自治会・町内会での回覧
- 掲示板への掲示（自治会・町内会、施設、郵便局等）
- のぼり旗の設置
- 事業開催時の活動周知 など

## 各地区社協の取組紹介



### 広報の効果／工夫

- 地区社協の広報を見てボランティアとして参加したいという人が現れた。
- 広報を見て地区社協が様々な活動を支えていることが理解できたとの感想をいただいた。
- 事業報告だけでなく、地域活動団体のPRの場として活用してもらえるように毎年2～3団体取材を行っている。
- 外国籍市民に地区社協の理解を促すため、中国語・英語等の表記のちらしを作成した。

## (2) 福祉啓発

住民の福祉理解を広げるために、研修や学習活動を実施している地区が176地区ありました。一般住民向けの講座だけでなく、役員・担い手に向けた講座を実施している地区もあります。

### ① 活動数



### ② 対象

役員	ボランティア	一般住民
2	168	140
こども	青少年	その他
197	42	17

### 内容

- 認知症理解
- 障害理解
- 子どもの居場所づくり
- 健康 など

### ③ 実施回数

延べ回数	1 活動における平均実施回数
576 回	2 回

### ④ 参加者数

参加者数	1 活動における平均参加者数
17,545 人	69 人

## 各地区社協の取組紹介



### 福祉啓発の効果／工夫

- 団地内のスーパーの従業員や学生にも参加してもらい、地域の中で認知症についての理解を広げている。
- 研修会に障害当事者が参加してくれて、意見交換・交流できた。

### (3) 調査

地域の実情に合わせ様々な手段で調査が実施されています。地域の困りごとと把握をするために、自治会・町内会等と連携し全住民アンケートを実施したり、担い手発掘として調査を活用している場合などもあります。

#### 1 アンケート

##### ① 実施地区数



##### 目的

- 担い手確保
- ニーズ把握
- 要援護者等の把握  
など

##### 対象

- 高齢者
- 全住民
- 活動の参加者  
など

##### ② 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
46	71	40	20

##### ③ 実施回数

実施回数
72回

#### 2 ヒアリング

##### ① 実施地区数



##### 目的

- 住民の困りごと
- 団体の状況
- 近隣の情報把握  
など

##### 対象

- 地域住民
- 活動の参加者
- 団体
- 施設  
など

##### ② 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
33	19	6	0

##### ③ 実施回数

実施回数
385回



### 3 その他の調査

#### ① 実施地区数



#### 目的

- 町歩き
- 生活の困りごと
- 子育てサロンで悩みごとを聞く など

#### 対象

- 地域住民
- 活動の参加者
- 地区社協役員 など

#### ② 対象エリア

地区連合	単位自治会・町内会	班	その他
9	1	0	4

#### ③ 実施回数

実施回数
40回

### 各地区社協の取組紹介



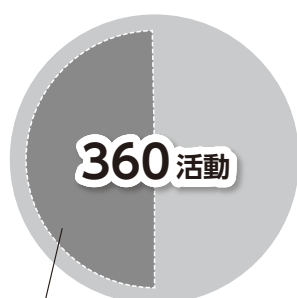
#### 調査の効果／工夫

- 調査に気軽に参加できるように地区の運動会時に地区の地図を掲示し、参加者に自分とお付き合いのある人をマッピングしてもらった。
- 早朝に登校する子どもの実態を社協でも現場調査を行うとともに、小学校校長に子どもの福祉問題についてヒアリングを実施した。

# B 3 施設等との連携・協働

地区社協のネットワークを活かし、高齢者・障害者・児童施設と連携をしながら地区社協活動を進めています。連携方法も様々で会場利用の協力や送迎車の活用などその施設の強みを活かした連携をしている地区社協が多くありました。

## ① 活動数



うち社会福祉法人 178活動

## ② 協力内容

職員の協力	物品・会場・車両の提供	資金提供	その他
219	161	23	93

### 具体的な内容

- 避難訓練の協力
  - イベントの協力
  - 研修・講演会等の講師
  - 配達時などの見守りの協力
  - ボランティア体験の受け入れ
  - 送迎車の活用
- など

## 各地区社協の取組紹介



### 施設等との連携・協働の効果／工夫

- 商店会、施設を訪問しお店の現状の聞き取り、見守りの理解を伝え高齢者110番のステッカー掲示を依頼している。さらに回覧板の目的の1つが見守りであることを伝え、趣旨に賛同した企業が回覧板本体への広告掲載を通して、連携している。
- 地区社協定例会に施設も参加してもらい、日ごろから地区社協への理解を深めてもらっている。

# 横浜の地区社協へメッセージ

明治学院大学 社会学部社会福祉学科  
准教授 榊原 美樹



地区社会福祉協議会はよく「ネットワーク組織」だと言われます。実はネットワークには、メンバー同士のつながりが強く内向きの「結束型」のネットワークと、多様なメンバーによるゆるやかな「橋渡し型」のネットワークの2種類があるとされています。多くの地区の団体等から構成される地区社協は後者の「橋渡し型」のネットワークだと考えられます。

この「橋渡し型」のネットワークは、個人や個別の組織だけでは得られないような資源や情報を手に入れることができる反面、互いの思いや目的がずれることがあり、維持していくことは容易ではないとされています。横浜市の地区社協活動が60年以上にわたって続いてきていることは、本当に尊敬に値することです。

そしてこのネットワーク組織を維持し、活動を進展させていくために重要な要素の一つが「会議」です。今回のデータ集では、定例の総会や役員会等だけではなく、多様な「話し合いの場」(会議)の集計がされています。「会議内容例」に挙げられている名称をみるだけでも、各地区で様々な工夫のもとで会議が開催されていることが分かります。

横浜市の地区社協活動の強みは、市内に250以上の同じ思いをもった「仲間」がいることだとも思います。ぜひ、この「仲間」の取組からも学び、「組織」と「活動」の両面の充実を目指していただければと願っています。

---

## 榊原先生 専門分野

地域福祉、特にコミュニティ（地域）の福祉を進めるための方法（小地域福祉活動、地域福祉計画、コミュニティワーク、プログラム評価等）についての調査・分析





よこはまの地区社協活動  
～地区社会福祉協議会データ集～

令和2年3月発行

編集・発行 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
(横浜市健康福祉総合センター)

電話 045(201)8616

このデータ集は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

赤い羽根共同募金はインターネットでも募金できます。  
※都道府県・市区町村社協を選択し、必要事項をご入力ください。

